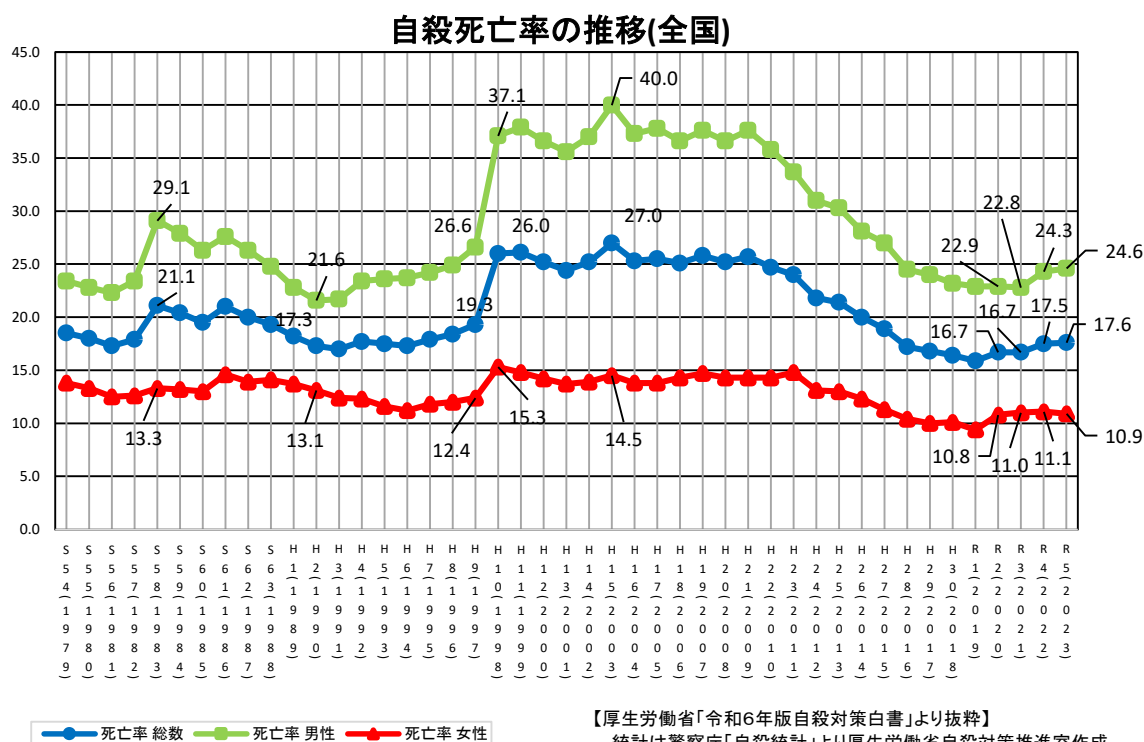


②自殺死亡率の推移

警察庁「自殺統計」で全国の人口 10 万人当たりの自殺者数（以下「自殺死亡率」という。）をみると、平成 22 年以降は低下に転じ、令和元年は最小の 15.9 となりました。令和 2 年は 16.7 と 11 年ぶりに上昇し、令和 3 年も同水準でした。令和 3 年以降は再び上昇をはじめ、令和 5 年は 17.6 となっています。

男女別にみると、男性は平成 15 年に最大の 40.0 となり、その後は低下を続けていましたが、令和 4・5 年と上昇傾向に転じ、令和 5 年は 24.6 となりました。一方女性も、総数及び男性と比較するとおおむね横ばいの傾向にあり、令和元年は最小の 9.4 となりました。しかし、令和 2 年に上昇して 10.8 となり、令和 3 年も 11.0 に上昇しました。その後は、令和 5 年に至るまで横ばいの傾向にあります。

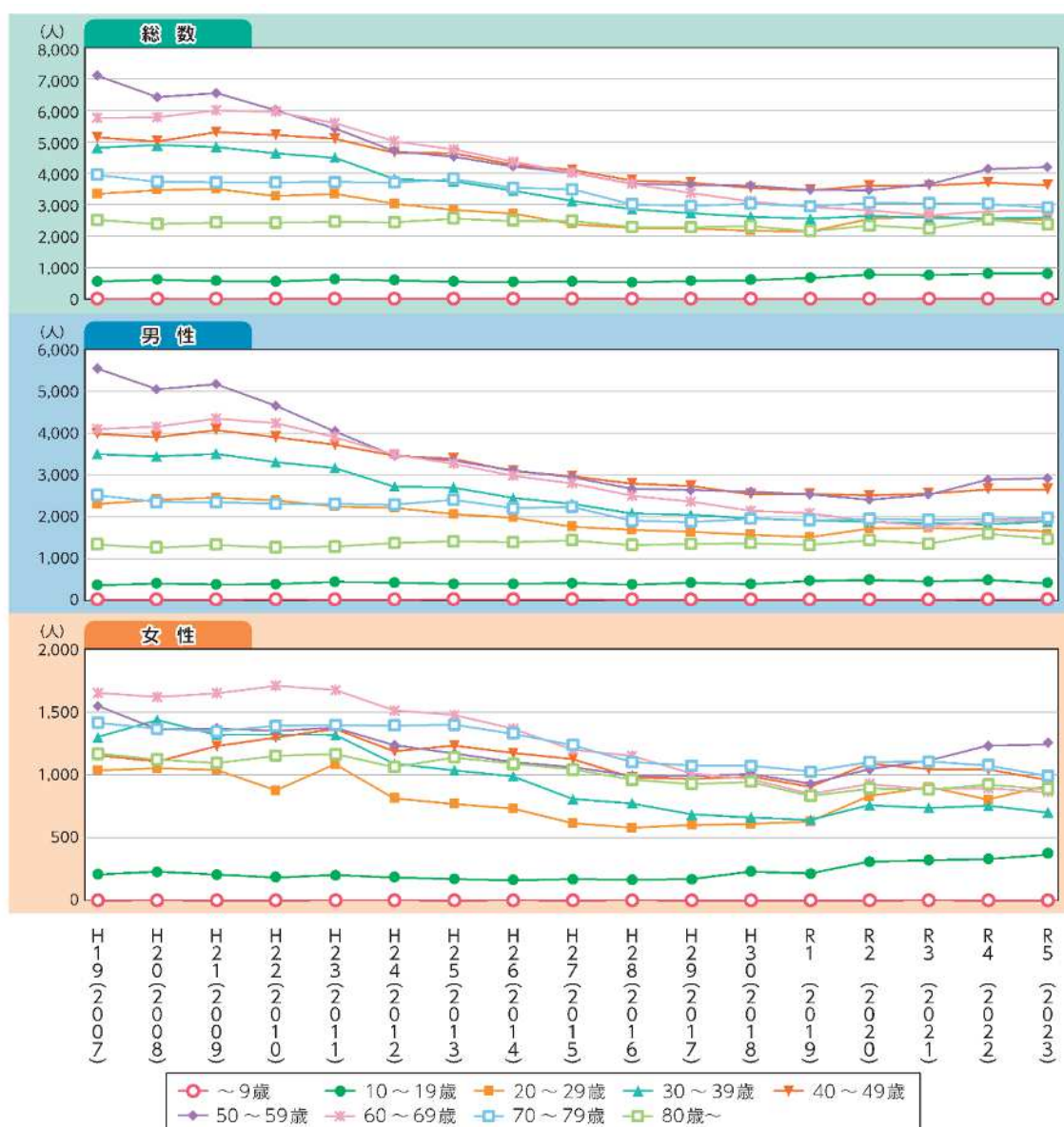


③年代別自殺者数の推移

自殺者数の推移を年代別（10 歳階級）別にみると、平成 19 年から令和元年にかけて、ほとんどの年代で自殺者数は減少傾向にありました。しかし、令和 2 年以降は多くの年代で増加もしくは横ばいの状況となっています。

男女別にみると、男性は令和 4 年に多くの年代で増加し、令和 5 年は 30 歳代から 70 歳代までの年代で増加しました。女性は、令和 2 年に 9 歳以下を除くすべての年齢階級で増加しています。特に 10 代、50 代は、令和 5 年まで 4 年連続で増加しました。

年代別自殺者数の推移(全国)



※平成19年の自殺統計原票改正以降は、「60歳~」を「60~69歳」、「70~79歳」及び「80歳~」に、「~19歳」を「~9歳」及び「10~19歳」に細分化して計上している。
 ※平成18年以前の推移は令和5年版自殺対策白書第1章を参照。

【厚生労働省「令和6年版自殺対策白書」より抜粋】
 統計は警察庁「自殺統計」より厚生労働省自殺対策推進室作成

(2) 北九州市の状況

※以下に掲載している本市の自殺者数等にかかる統計資料は、厚生労働省自殺対策推進室「地域における自殺の基礎資料」に基づき本市が作成したものである。

①自殺者数の推移

厚生労働省が公表している「地域における自殺の基礎資料（自殺日・住居地）」によると、本計画の数値目標の基準年である平成 27 年の本市の自殺者数は 186 人（自殺死亡率 19.04）でした。平成 28 年は 159 人（16.36）と減少しましたが、平成 29 年 180 人（18.62）、平成 30 年 182 人（18.94）と 2 年連続で増加した後、令和元年は 139 人（14.54）と減少しました。その後、令和 2 年以降は増加に転じ、令和 5 年は 204 人（21.95）となっています。

男女別にみると、男性の自殺者数は増減を繰り返しながら、女性のおよそ 2～3 倍で推移しており、令和 5 年は女性のおよそ 1.7 倍となりました。女性の自殺者数も増減を繰り返しており、令和 5 年は平成 26 年からの 10 年間で最も自殺者数が多くなっています。

【北九州市の自殺者数の推移】

